

ケテルのBluetoothシステム Bear Lizard KT-BSH02

ご使用になる前に

●ご利用の前に、この取扱説明書、及び接続（通信）する機器に付属の取扱説明書を良くお読みいただき、内容をよく理解し、正しくご利用くださいますよう、お願いいたします。 ●この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管していただき、この商品を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。 ●本体の操作は、停止した状態で行ってください。走行中の操作は事故、転倒に繋がりが大変危険です。 ●携帯電話と同様に運転中の操作は取り締まりの対象となる場合があります。 ※取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社は一切の責任を負いません。

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。運転中は安全運転を最優先して本製品をお使いください。

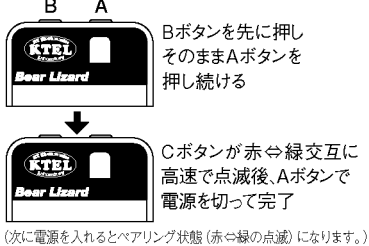
機器の名称



- ①A ボタン
電源ON/OFF、ペアリング、音量UP、再生、停止
- ②B ボタン
音量DOWN、再接続
- ③C ボタン
タンデム開始、タンデム終了、
電話着信中応答、終話、電源ランプ
- ④コード接続端子
KTELコード接続ジャック
- ⑤バッテリー
単4アルカリ乾電池1本
- ⑥クリップ
胸ポケットなどに取り付け可能
取り外しも簡単

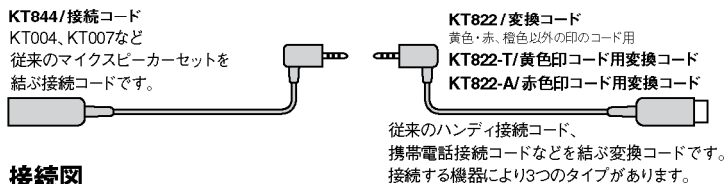
オールリセット

電源オフの状態から下記の操作を行います。

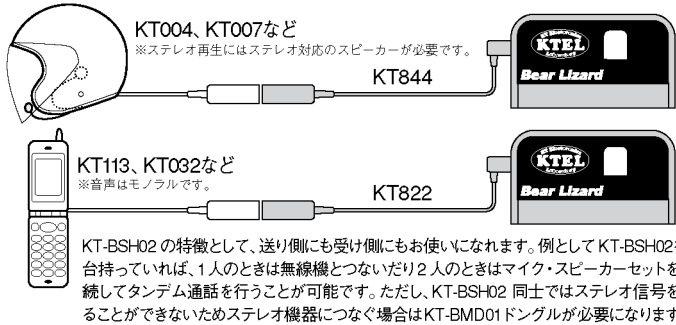


※コード等の抜き差しは、電源を切っている状態で行ってください。故障の原因となります。

アクセサリ



接続図

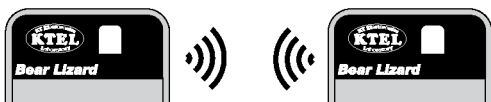


KT-BSH02の主な仕様

電波の型式：F1D,G1D (Bluetooth V2.1+ EDR)
周波数：2441MHz
空中線電力：0.000045W ~ 0.0002W
利用可能なプロファイル：HSP,HFP,A2DP, AVRCP
著作権保護：SCMS-T 対応

通信可能距離：実用 5m(最大10m)
通信可能時間：実用 8 時間前後
連続待受時間：150 時間前後
電源：単 4 型アルカリ電池 1 本
サイズ：60(L)×35(W)×15(H) mm (本体のみ)
重さ：約 18g (本体のみ電池含まず)
※通信可能時間はタンデム会話を基本とした計測値です。

タンデム会話→KT-BSH02 2台をペアリングする



- ①相手側を近くに置いてください。他の Bluetooth 機器は OFF にしてください。
- ②電源が切れている状態でAボタン約10秒押ししてください、電源ランプが緑と赤で高速に点滅します。相手側はゆっくり緑と赤で点滅させます。数秒でお互いのランプが緑の点滅になればペアリング完了です。
- ③タンデムを開始する場合はCボタンを押すとペアリングしている KT-BSH02 と自動で接続します。
- ④Cボタンを押すとタンデム会話は終了します。

音楽を聴く→iPhoneなどのBluetooth対応プレーヤーをペアリングする



- ①相手側を近くに置いてください。他の Bluetooth 機器は OFF にしてください。
- ②電源が切れている状態でAボタンを約8秒押ししてください。電源ランプが緑と赤でゆっくり点滅します。
- ③それぞれの機器のペアリングをご覧ください。A2DP 搭載機器および A2DP 対応のアダプターでなおかつパスキー「0000」のみ対応します。音楽が聞こえてきたらペアリング完了です。
- ④AVRCP 対応のアダプターは A ボタンで再生、停止が可能です。以上で初期のペアリングは完了です。
- ⑤それぞれの機器の電源を入れてください。機器により Bluetooth をオンに設定しないと接続いたしませんのでオーディオアダプター、携帯電話などの取扱説明書の Bluetooth 設定をご覧ください。
- ⑥それぞれテストして接続しているか確認してください。A ボタンを約3秒押しピポと鳴ると再生、もう1度約3秒押しと停止します。

携帯電話で通話する→Bluetooth対応携帯電話とペアリングする



- ①相手側を近くに置いてください。他の Bluetooth 機器は OFF にしてください。
- ②電源が切れている状態でAボタンを8秒押ししてください。電源ランプが緑と赤でゆっくり点滅します。
- ③携帯電話の Bluetooth メニューより初期登録してください。検出した機器の一覧より KT-BSH02 を選択してください。携帯電話からパスキーの入力を要求されますので「0000」を入力してください。電源ランプが緑の点滅に変わったらペアリング完了です。
- ④携帯電話は通話以外にも音楽、ワンセグの音声を聞く事ができます。SCMS-T 対応。
- ⑤タンデム会話や音楽を再生中に電話がかかってくると割り込んで携帯電話の着信音がなります。C ボタンを1回押し通話をしてください。通話を終了する場合はCボタンを押すか相手が切るまでお待ちください。音楽再生中の着信の場合は数秒後に音楽が自動復帰します。この状態でタンデム会話を開始する場合は、相手側の操作(Cボタンを押して呼び出し)により開始されます。また、タンデム会話中の着信の場合はタンデム会話に自動復帰します。

音楽を聞きながら携帯電話を受ける、タンデムをする



音楽再生中に携帯電話を受けるには

着信があると音楽が一時的に停止し着信音が聞こえます。C ボタンを 1 回押して通話を開始してください。通話が終了したら C ボタンを押します。数秒後、自動で音楽再生に戻ります。

音楽再生中にタンデムをするには

どちらかがCボタンを押した場合、タンデムを開始します。もう1度Cボタンを押した場合はタンデムを終了して音楽再生に戻ります。

再接続する

サービスエリアなどでペアリングしている機器と10m以上離れてしまってもペアリングが切断された場合は次の操作で再接続してください。B ボタンを約1秒押ししてください。ピピと音が鳴ります。携帯電話は自動接続する場合もあります。タンデムはCボタンを押してください。自動で接続します。

※再接続のできない機器もあります。詳しくは、お持ちの機器により設定が違いますので、携帯電話やオーディオプレイヤー、ステレオ Bluetooth アダプターなどの各説明書でご確認ください。

バッテリーの交換方法

- ①▽と△の位置を合わせと蓋が外れます。(左回り)
 - ②電池の挿入は、蓋側が+ (プラス)、本体側が- (マイナス) の向きに入れてください。
 - ③▽と△の位置を合わせ、少し押しながら右側に止まるまで (12時位置) 回してください。
- ※故障の原因となりますので、力の入れすぎには充分ご注意ください。
※バッテリーの交換時は必ず電源を切ったうえで行ってください。誤動作の原因となります。
※バッテリーが 20% を切りますとバッテリー容量低下の警告音 (ピピピッ) およびCボタンが赤色に点滅します。できるだけ早く電池の交換をお願いします。そのまま使用を続行し、電源が切れた場合、正常に機能しない場合がありますので、ご注意ください。
なお、電池交換後に、正常に機能しない場合は、オールリセットを実施の上、再設定を行ってください。